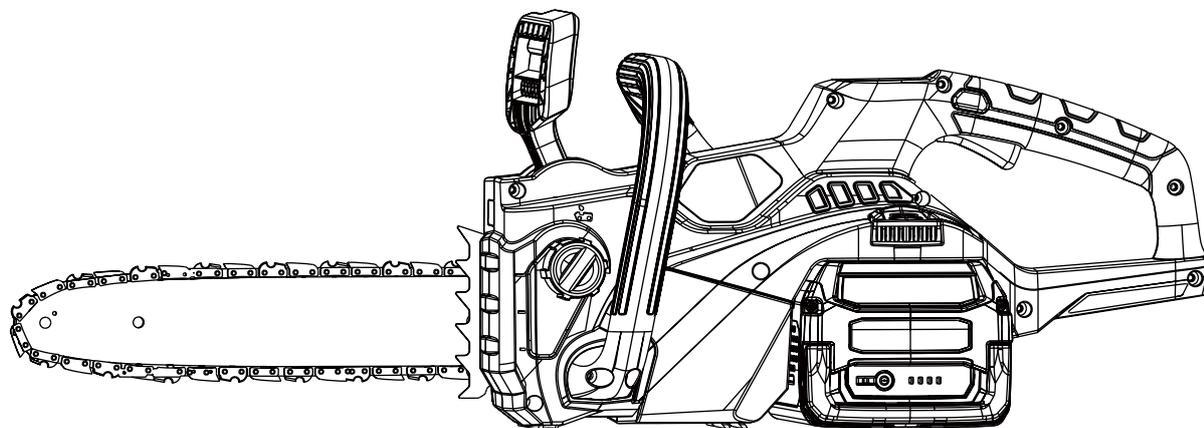




バッテリーチェーンソー

取扱説明書

60VCS01



【重要】本機を組み立て、操作する前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。



1. はじめに

ご使用になる前に、この取扱説明書を必ず最後までお読みください。

本書は、製品の性能を最大限に引き出し、安全・効率的・経済的に操作するためのものです。

危険や高額な修理を回避し、稼働停止時間を減らして、製品の信頼性と寿命を高めるための重要な情報が記載されています。

本書の安全規定だけでなく、国や地域の法令、関連する技術規則も必ず遵守してください。

操作は、機械の取扱いについて十分な指導を受け、その危険性を理解している人のみが行えます。

取扱説明書はいつでも読めるよう製品の近くに保管し、作業前や不明な点がある際はその都度読み返してください。

■お取り扱い状の注意

適用される製造物責任法に従い、メーカーは、以下に起因する製品の損傷または製品によって引き起こされた損傷について責任を負いません。

- ・不適切な取り扱い
- ・取扱説明書の不遵守
- ・認定サービス技術者ではない第三者による修理、
- ・純正品ではないスペアパーツの取り付けおよび交換、
- ・指定された以外の用途での使用、
- ・電気規制および VDE 規制 0100、DIN 57113 / VDE0113 の不遵守により発生する電気システムの故障。

注意事項

本体と梱包材はおもちゃではありません！ 子供にビニール袋、フィルム、小さな部品で遊ばせないでください！ 飲み込んだり窒息したりする危険があります！

■チェーンソー作業時における防護具の着用

▲警告！ 防護具の着用は法律で定められた義務です

チェーンソー作業時は、以下の防護具を必ず着用してください。着用せずに作業を行うと、キックバック（刃の跳ね返り）やソーチェン接触により、死亡または重篤な人身事故につながる極めて高い危険があります。

- チェーンソー用防護ズボンまたは防護チャップス
(JIS T 8125、ISO 11393、EN 381-5 規格に適合するもの)
- ヘルメット
- フェイスシールドまたは保護メガネ
- 防護ブーツまたは安全靴
- 防振・防護手袋
- 耳栓やイヤーマフ

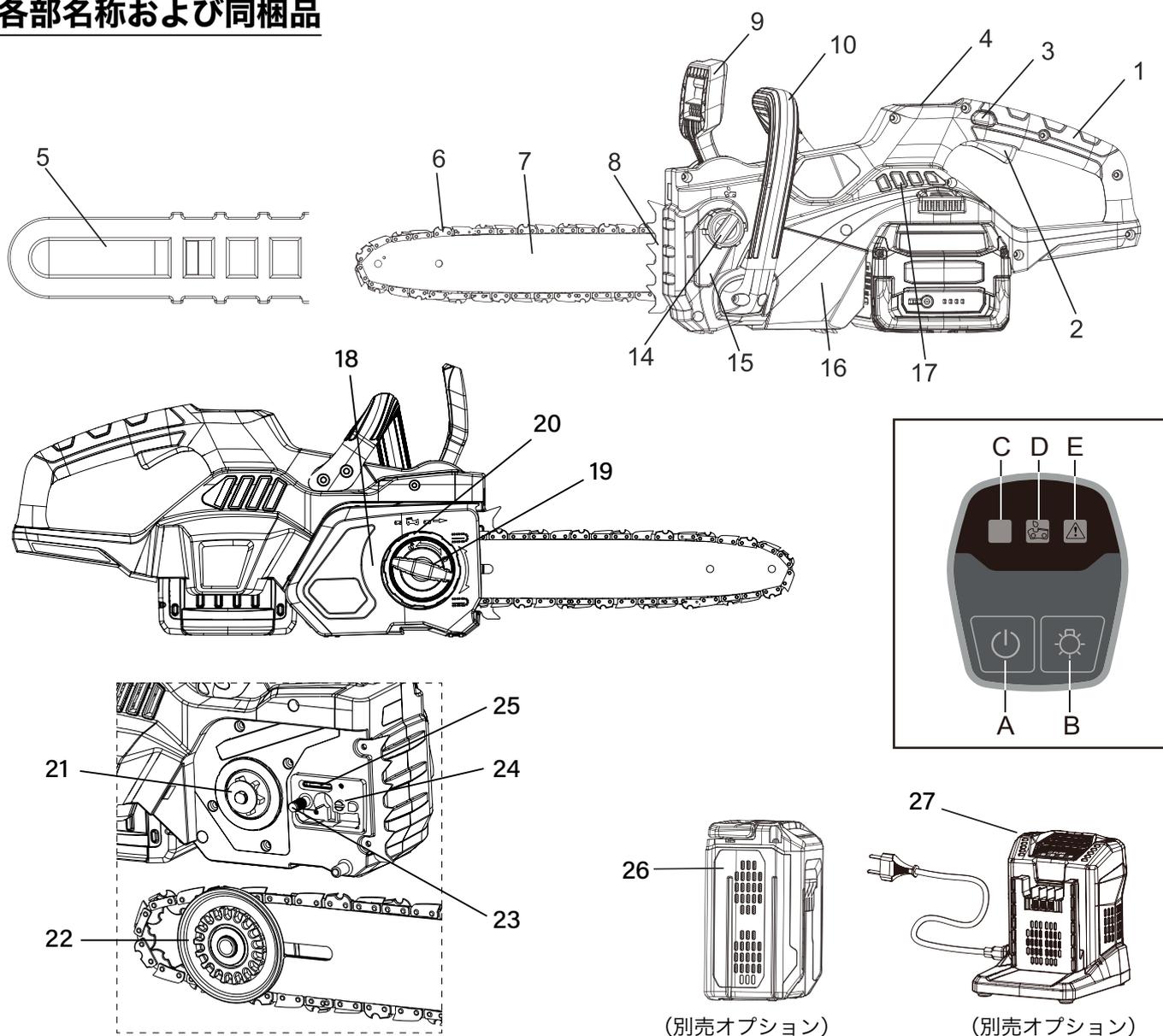


いかなる理由があっても、防護具を着用せずにチェーンソーを始動・使用しないでください。

機器の記号の説明

	警告！ 無視すると、死亡または負傷のリスク、または本製品の損傷につながります！
	注意 - 怪我のリスクを減らすために取扱説明書を読んでください！
	目の保護ゴーグルと保護ヘルメットを着用してください！
	耳栓を着用してください！
	保護手袋を着用してください！
	安全靴を着用してください！
	両手操作のみ
	本機を雨から保護し、雨の中屋外に放置しないでください！
	注意！ キックバック
	切断防止保護服を着用してください
	チェーンオイルの給油口 / チェンオイル量
	ガイドバーの長さ
	チェンブレーキを解除する
	チェンブレーキをかける
	スプロケットカバーのロック / アンロック
	ソーチェーンの規定された回転方向
	チェーンの張りを増す / 減らす
	傍観者から距離を保ってください
	メンテナンス・作業を行う前に、必ずバッテリーを本体から取り外してください！
	保証された音響パワー
	本製品は EU（欧州連合）の定める安全、健康、環境保護に関する基準を満たしています。

2. 各部名称および同梱品



1. リアハンドル
2. オン/オフスイッチ
3. スイッチロック
4. UIパネル
5. 保護カバー
6. ソーチェーン
7. ガイドバー
8. クローストップ(スパイク)
9. ハンドガード/チェーンブレーキ
10. フロントハンドル
11. チェーンテンション調整ホイール
12. チェーンカバー
13. サイドカバーネジナット
14. オイルタンクキャップ

15. オイルタンク(インジケーター付き)
16. ハウジング
17. 通気孔
18. スプロケットカバー
19. カバー締付けノブ
20. チェーンテンション調整ノブ
21. ドライブスプロケット
22. チェーンテンショニングギア
23. スタッドボルト
24. パーシート
25. チェンオイル吐出口
26. バッテリー(別売)
27. 充電ユニット(別売)

UIパネルの説明

- A: 電源オンボタン
- B: LEDライトボタン
- C: 電源オンインジケーターライト
- D: チェンオイルインジケーターライト
- E: エラーライト

3. 製品内容

- ・梱包を開け、本体を慎重に取り出してください。
- ・梱包材、および梱包と輸送用の固定具（ある場合）を取り除いてください。
- ・製品がすべて揃っているか確認してください。
- ・本体と付属品に輸送による損傷がないか確認してください。
- ・可能であれば、保証期間が終了するまで梱包を保管してください。

梱包内容

- バッテリーチェーンソー本体
- ガイドバー
(18" | 3/8" | 1.3mm | チェーンテンショニングギア付き)
- ソーチェーン 91PX062X (91PX、62 コマ)
- 取扱説明書

4. 適切な使用

このバッテリーチェーンソーは以下の用途のための製品です。

- ・私有地での木材の伐採および製材

本機は、その所定の目的にのみ使用してください。その他の使用は、誤用とみなされます。誤用によって生じたいかなる損傷やけがについても、メーカーは責任を負わず、すべて使用者・操作者の責任となります。本機は、業務用途、または産業用途向けに設計されていません。本機が業務用途、または産業事業、あるいは同等の目的で使用された場合、当社の保証は無効となります。

- ・木材以外のプラスチック、石材、金属等の切断には適しません。
- ・この取扱説明書の記述および安全指示に従った使用を目的としています。

5. 安全上の注意

▲警告！ 防護具の着用は法律で定められた義務です

チェーンソー作業時は、以下の防護具を必ず着用してください。着用せずに作業を行うと、キックバック（刃の跳ね返り）やソーチェーン接触により、死亡または重篤な人身事故につながる極めて高い危険があります。

- ヘルメット
- フェイスシールドまたは保護メガネ
- チェーンソー用防護ズボンまたは防護チャップス
(JIS T 8125、ISO 11393、EN 381-5 規格に適合するもの)
- 防護ブーツまたは安全靴
- 防振・防護手袋
- 耳栓やイヤーマフ

いかなる理由があっても、防護具を着用せずにチェーンソーを始動・使用しないでください。

電動チェーンソーの安全に関する警告

▲警告！

すべての安全に関する警告とすべての指示をお読みください。警告および指示に従わないと、感電、火災、および/または重傷を負う可能性があります。すべての警告および指示を将来参照できるように保存してください。

本取扱説明書における「電動チェーンソー」とは、電気またはバッテリーで作動する（コードレス）チェーンソーを指します。

5-1. 作業エリアの安全

- ・作業エリアは整理整頓し、明るく保ってください。散らかったり暗い場所は事故の原因になります。
- ・可燃性の液体・ガス・粉塵など、爆発の危険がある場所では使用しないでください。引火する恐れがあります。
- ・操作中は、子供や周りの人を近づけないでください。注意が散漫になり、操作を誤る原因となります。

5-2. 電気的安全性

- ・電源プラグはソケットに合ったものを使用し、絶対に改造しないでください。適切なプラグとソケットの使用が感電リスクを減らします。
- ・電動チェンソーを使用中に、配管や冷蔵庫など、アースされたものに体が触れないようにしてください。感電の危険が高まります。
- ・雨の中や湿気の多い場所では使用しないでください。内部に水が入ると感電の危険があります。
- ・コードを持って運んだり、コードを引っ張ってプラグを抜いたりしないでください。コードを熱、油、鋭利な角、可動部から遠ざけてください。損傷したり絡まったコードは感電の危険を高めます。

5-3. 個人の安全

- ・操作中は作業に集中し、常に注意を払ってください。疲労時や、薬物・アルコール・医薬品の影響下では絶対に使用しないでください。一瞬の不注意が重傷に繋がります。
- ・チェンソー作業にあたって、必ず前述の防護具を着用してください。作業状況に応じて、防塵マスク、ヘルメット、耳栓なども使用し、怪我のリスクを減らしてください。
- ・不意の始動を避けるため、電源接続や持ち運びの前には、必ずスイッチがオフになっていることを確認してください。スイッチに指をかけて運んだり、オンのまま電源に接続したりすると大変危険です。
- ・スイッチを入れる前に、調整用の器具や工具類がすべて取り外されているか確認してください。取り付けたまま作動させると、飛散して怪我の原因となります。
- ・無理な姿勢で作業せず、常に安定した足場とバランスを保ってください。これにより、不測の事態でもチェンソーを制御しやすくなります。
- ・体にフィットした作業服を着用し、だぶついた服や宝飾品は身につけないでください。長い髪はまとめ、衣服や手袋と共に回転部に巻き込まれないよう注意してください。
- ・集塵装置が使用可能な場合は、正しく接続・使用し、粉塵による健康被害のリスクを軽減してください。

5-4. 電動チェンソーの使用と手入れ

- ・使用しないチェンソーは子供の手の届かない場所に保管してください。また、本製品に不慣れな人や、取扱説明書を熟読していない人には操作させないでください。未訓練者の使用は大変危険です。
- ・チェンソーは丁寧に取り扱い、使用前には点検をしてください。可動部がスムーズに動くか、機能に影響する破損がないか確認します。損傷した部品は必ず使用前に修理または交換してください。整備不良は事故の主な原因です。
- ・ソーチェン(刃)は、常に鋭く清潔な状態を保ってください。適切に整備された刃は、引っかけにくく制御が容易になります。
- ・本書の指示に従い、作業条件や内容に適した方法でチェンソーや付属品をご使用ください。本来の目的と異なる使用方法は、危険な状況を招く恐れがあります。
- ・使用時は、すべてのハンドルや安全装置が正しく取り付けられていることを確認してください。部品が不足していたり、許可なく改造されたチェンソーは絶対に使用しないでください。
- ・常に周囲に気を配り、作業中の騒音により、周囲の危険の察知が遅れることがあります。常に周囲の状況に注意を払ってください。人、特に子供が近くにいる場合は、使用を中止してください。

5-5. バッテリー・充電器の使用と取り扱い

- ・本機対応のバッテリーは専用の充電器でのみ充電してください。専用ではない充電器でバッテリーを充電すると、火災になる危険があります。
- ・本機には専用に設計されたバッテリーのみを使用してください。他のバッテリーを使用すると、怪我や火災の危険が生じる可能性があります。
- ・使用していないバッテリーを、事務用クリップ、硬貨、鍵、釘、ネジ、その他の小さな金属製品の近くに置かないでください。これらは接点の短絡(ショート)を引き起こす可能性があります。バッテリーの接点間の短絡は、火傷や火災を引き起こす可能性があります。
- ・不適切に使用すると、バッテリーから液体が漏れることがあります。そうなった場合は液体に触れないでください。誤って接触した場合は、患部を水で洗い流してください。液体が目に入った場合は、医師の診察を受けてください。バッテリーから漏れた液体は、皮膚の炎症や火傷を引き起こす可能性があります。
- ・充電式バッテリーまたは充電器に同封されている取扱説明書と安全上の注意に従ってください。

5-6. 修理・整備・部品交換について

本製品の修理・整備は、安全性維持のため取扱販売店またはプラウへご相談ください。部品を交換する場合、同一部品または互換性のある交換部品のみをご使用ください。

チェーンソーの安全上の注意

■正しい持ち方と姿勢

- ・作業中は、ソーチェンから体すべての部分まで安全な距離を保ってください。始動する前に、ソーチェンが何にも触れていないことを確認します。作業中の一瞬の不注意が、衣服や体の一部を巻き込む事故に繋がります。
- ・チェーンソーは必ず、右手で後部リアハンドル、左手で前部フロントハンドルを握ってください。逆の手で持つと怪我のリスクが高まるため、絶対に行わないでください。
- ・常に安定した足場を確保し、平らで安全な場所に立って作業してください。はしごの上など、滑りやすく不安定な場所ではバランスを失う危険があるため、絶対に使用しないでください。

■防護具と服装

※防護具の着用は法律で定められた義務です

チェーンソー作業時は、以下の防護具を必ず着用してください。着用せずに作業を行うと、キックバック（刃の跳ね返り）やソーチェン接触により、死亡または重篤な人身事故につながる極めて高い危険があります。適切な防護具を着用することで、飛散する木くずや万一の接触による怪我のリスクを低減します。体にフィットした作業服を着用し、だぶついた服や宝飾品は身につけないでください。

- チェーンソー用防護ズボンまたは防護チャップス
(JIS T 8125、ISO 11393、EN 381-5 規格に適合するもの)
- ヘルメット
- フェイスシールドまたは保護メガネ
- 防護ブーツまたは安全靴
- 防振・防護手袋
- 耳栓やイヤーマフ

■危険な作業の禁止

木の上での作業は重大な怪我の危険があるため、特別な訓練を受けた専門家以外は絶対に行わないでください。

張力がかかった枝を切る際は、切断された瞬間に枝が予期せぬ方向へ跳ね返る（スプリングバック）危険性を常に意識してください。跳ね返った枝が作業者に当たったり、チェーンソーの制御を失ったりする恐れがあります。

低木や若木など細い材料を切る際は、刃に絡まって作業側へ跳ね返ったり、体のバランスを崩したりする危険があるため、特に注意してください。

木材の切断という本来の目的以外に使用しないでください。プラスチック、レンガ、木材以外の建材などを切断すると、予期せぬ危険な状況を招く恐れがあります。

■持ち運び、保管、メンテナンス

持ち運ぶ際は、必ずスイッチを切り、前部ハンドルを持って、ソーチェンが体から離れるようにしてください。輸送・保管時は、必ず保護カバーを取り付けます。丁寧に扱うことで、偶発的な接触事故を防げます。

給油、ソーチェンのテンション調整、付属品の交換は、必ず指示に従ってください。不適切な調整や給油は、刃の破損やキックバックのリスクを高めます。

ハンドルは常に乾いた清潔な状態を保ち、油やグリースが付着しないようにしてください。滑りやすいハンドルは、制御を失う原因となります。

■キックバックの原因と回避

キックバックは、ガイドバーの先端が物体に接触したり、木材に刃が挟まった際に、チェーンソーが瞬時に作業側へ跳ね返る極めて危険な現象です。この反動により制御を失い、重傷を負う可能性があります。本体の安全装置だけに頼らず、以下の対策を必ず実行してください。

■チェーンソーを両手でしっかりと握る

親指と他の指で前後両方のハンドルをしっかりと包み込むように握ります。キックバックの力に対抗できるよう、体と腕を適切な位置に保ち、決してチェーンソーから手を離さないでください。

■肩より上で作業しない

無理な姿勢での作業や、肩の高さを超える位置での切断は避けてください。これにより、意図しない先端の接触を防ぎ、制御しやすくなります。

■純正部品を使用する

交換用のガイドバーとソーチェンは、必ずメーカーが指定したものを使用してください。不適切な部品は、刃の破損やキックバックの原因となります。

■適切なメンテナンス

メーカーの指示に従い、ソーチェンの目立てやメンテナンスを行ってください。特にデプスゲージ（刃の切れ込み深さを調整する部分）を削りすぎると、キックバックの危険性が増大します。目立てについては「ソーチェンの目立て（18ページ）」をご参照ください。

追加の安全上の注意

■訓練と使用者の制限

- ・使用前に、専門書や講習会などでチェーンソーの正しい使い方を十分に習得してください。
- ・お子様、心身の機能が低下している方、経験や知識が不足している方は、安全責任者の監督や指示がない限り、本製品を操作しないでください。お子様が本製品で遊ばないよう、常に監督してください。

■作業前・中・後の注意

- ・**バッテリーの取り外し**：次の場合は必ず電源を切り、バッテリーを取り外してください。
 - その場を離れるとき
 - 点検、清掃、その他の作業を行う前
 - 本体に異常な振動が始まったとき
- ・作業エリアに人(特に子供)や動物がいないことを確認してください。
- ・作業を始める前に、石やワイヤーなど、刃に巻き込まれる可能性のある障害物を作業エリアから取り除いてください。
- ・作業の中断や終了で本体を置く際は、必ず刃が完全に停止するのを待ってください。

■部品の交換と改造の禁止

- ・すべての保護装置とハンドルが正しく取り付けられていることを確認してから使用してください。部品が不足していたり、許可なく改造された製品は絶対に使用しないでください。
- ・交換部品はメーカー指定の要件を満たす必要があります。必ず純正部品かメーカーが承認した部品を使用してください。

■電気に関する注意

- ・隠れた電線に刃が触れると、感電する恐れがあります。作業中は必ず、絶縁されたハンドル部分を持ってください。
- ・バッテリーを挿入する前に、本体のスイッチがオフになっていることを確認してください。安全のため、スイッチ類は固定しないでください。

その他の安全上の注意

- ・本機を使用する際は、子供や動物を含む他の人を安全な距離に保ってください。最低安全距離は10mです。
- ・チェーンソーで作業する際は、十分な照明または良好な照明条件を確保してください。
- ・滑り止めの付いた丈夫な靴、丈夫な長ズボン、手袋、安全メガネ、聴覚保護具などの適切な保護服を着用してください！ ゆったりとした衣服や宝飾品を着用しないでください。回転部分に巻き込まれる可能性があるため、髪、衣服、手袋は可動部分の手の届かないところに置いてください。素足やサンダル履きでチェーンソーを使用しないでください。

- ・電氣的危険、電力線から少なくとも10mの距離を保ってください。
- ・本機の操作中は、特に階段やはしごを使用している場合は、安全でしっかりとした姿勢をとる必要があります。
- ・△後ずさりしながらの作業は、つまづく危険があるため注意してください。
- ・怪我を防ぐため、切断された枝や結び目は直ちに作業エリアから取り除いてください。
- ・本製品の近くで走らないでください！
- ・切断された枝が裂けて落下し始めたら、直ちに脇に移動し、落下する木材から安全な距離を保ってください。跳ね返って怪我をする可能性があります。
- ・ソーチェーンが詰まった場合は、直ちにチェーンソーのスイッチを切り、交換可能なバッテリーをチェーンソーから取り外してください。詰まった物体を取り除いてください。
- ・作業中は、チェーンソーを両手でしっかりと持ち、体から離してください。
- ・チェーンソーを始動する前に、切断ユニットが何にも触れていないことを確認してください。
- ・バッテリーを挿入する前に、チェーンソーのスイッチがオフになっていることを確認してください。オン/オフスイッチと安全スイッチは固定しないでください。

▲使用前に、すべてのねじ止めおよびソケットジョイントと保護装置の締め具合と適切な取り付けを確認し、すべての可動部品がスムーズに動くことを確認してください。機械の保護装置を取り外したり、調整したり、流用したり、製品に指定外の保護装置などを取り付けることは、固く禁じられています。

▲ 損傷している場合や安全装置に欠陥がある場合は、使用しないでください。摩耗または損傷した部品は交換してください。

▲ 可燃性の液体やガスの近くで本機を使用しないでください。短絡の場合、火災および爆発の危険があります。

▲ 警告！この電動チェーンソーは、作動中に電磁場を発生させます。この電磁場は、特定の条件下で能動的または受動的な医療用インプラントを損なう可能性があります。重篤または致命的な怪我のリスクを防ぐため、医療用インプラントを使用している人は、電動チェーンソーを操作する前に医師および医療用インプラントの製造元に相談することをお勧めします。

バッテリー

不正な使用や損傷した蓄電池を使用した場合、蒸気が外部に漏れることがあります。問題が発生した場合は、新鮮な空気を取り込み、医師の診察を受けてください。蒸気は呼吸器系を刺激する可能性があります。

【火災・爆発の危険！】

- ・ 損傷・欠陥、あるいは変形したバッテリーは絶対に使用しないでください。バッテリーを分解したり、落下や損傷させないでください。
- ・ 酸や引火しやすい物質のある環境でバッテリーを充電しないでください。
- ・ バッテリーを熱や火気から遠ざけてください。
- ・ バッテリーは、周囲温度が 10°C から +40°C の間でのみ使用してください。
- ・ バッテリーをヒーターの上に置いたり、長時間直射日光にさらしたりしないでください。
- ・ 機体が過負荷状態になったら、まずバッテリーを冷ましてください。
- ・ 短絡（ショート） - バッテリーの接点を金属部品でブリッジしないでください。
- ・ バッテリーの保管・廃棄、または輸送する際は、ビニール袋や箱で梱包するか、バッテリー接点を密閉する必要があります。

避けられない危険性・リスクについて

取扱説明書を遵守してチェーンソーを適切に使用していても、いくつかの隠れた危険性・残留リスクが存在する可能性があります。

- ・ 切断による負傷
- ・ 聴覚障害 作動中のユニットのすぐ近くに長時間滞在すると、聴覚障害を引き起こす可能性があります。耳栓を着用してください！
- ・ 本製品を長時間使用したり、不適切な取り扱いや整備を行ったりすると、振動により手や腕に健康被害（振動障害）が生じる可能性があります。
- ・ 振動減衰システムは、レイノー症候群や手根管症候群に対する保護を保証するものではありません。このため、装置を定期的かつ継続的に使用する場合は、指と手首の状態を徹底的に監視する必要があります。上記の疾患の症状が現れた場合は、直ちに医師に連絡してください。レイノー症候群のリスクを軽減するために、作業中は手を暖かく保ち、定期的に休憩を取ってください。

騒音や振動を最小限に抑えるように努めてください。

- ・ 正常に作動する製品のみを使用してください。
- ・ 本機の点検と清掃を定期的に行ってください。
- ・ 本機に適した作業方法で行ってください。
- ・ 本機に無理な負荷をかけないでください。
- ・ 必要に応じて本機の点検・整備を受けてください。
- ・ 使用しないときは本機の電源を切ってください。
- ・ 保護手袋を着用してください。

6. 技術データ

項目	仕様
公称電圧	60V DC
バッテリータイプ	Li-Ion 60V
切断長	44 cm
ガイドバー品番	518303 OREGON
ガイドバーの長さ	18 インチ (45cm)
ソーチェーンタイプ	91PX 062X OREGON
ソーチェーンピッチ	3/8"
ソーチェーンゲージ	1.3mm(0.050")
ドライブリンク数	62 コマ
チェーン速度最大	24m~/s
スプロケットの歯数	6 歯 x 9.525 mm
チェーンオイルタンク容量	250 ml
重量 ガイドバー、ソーチェーン、バッテリー含まず	3.5 kg

補足情報

標準付属ガイドバー
OREGON 518303 マウント A041

標準付属ソーチェーン
OREGON 91PX062X

推奨チェーンオイル
やまびこ オールシーズンチェーンオイル

音響と振動 音響および振動の値は ISO 22868 に従って測定

項目	値
音圧レベル (LpA)	93 dB(A)
音響パワーレベル (LWA) 測定値	100.9 dB(A)
音響パワーレベル (LWA) 保証値	108dB(A)
不確かさ (KWA)	3 dB(A)
振動放出値 a _{h,eq} リアハンドル	2.351m~/s ²
振動放出値 a _{h,eq} 前部ハンドル	2.306m~/s ²
K 不確かさ	1.5m~/s ²

騒音の影響は聴覚に損傷を与える可能性があるため、耳栓を着用してください。

総振動値（3方向のベクトル和）は、ISO 22867 に従って決定されました。指定された振動値は、標準化された試験方法に従って確立されました。電気機器の使用方法によって変化する可能性があります。例外的な状況では指定値を超えることがあります。

7. 始動前の準備

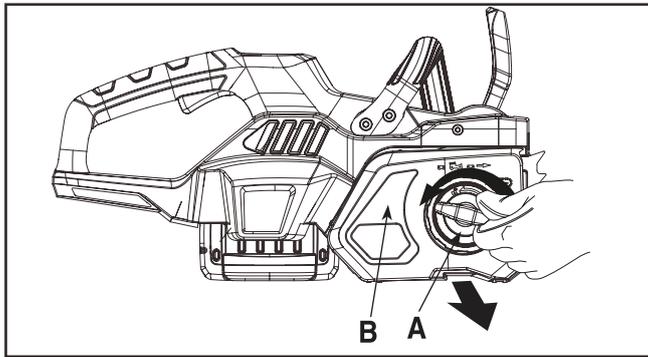
⚠ 警告!

- ・必ず電源を切り、バッテリーを外して、チェーンソーが動かないことを確認してください。
- ・保護メガネと手袋を必ず着用してください。

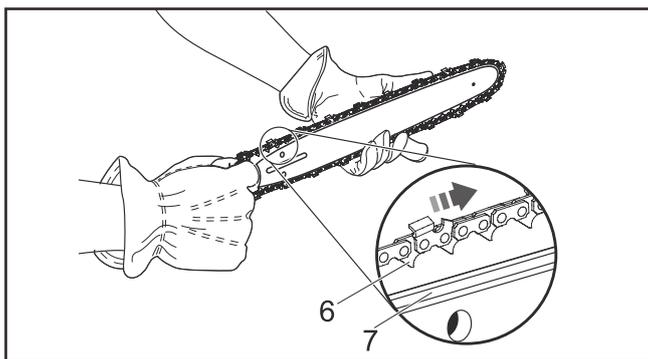
■ ガイドバーとソーチェーンの取り付け

⚠ 注意!

チェーンソーが完全に組み立てられ、すべての設定が完了するまでバッテリーを取り付けしないでください。怪我から身を守るため、チェーンソーで作業する際は常に保護手袋を着用してください。作業をする前に、製品・付属品が揃っているか、破損がないかご確認ください。

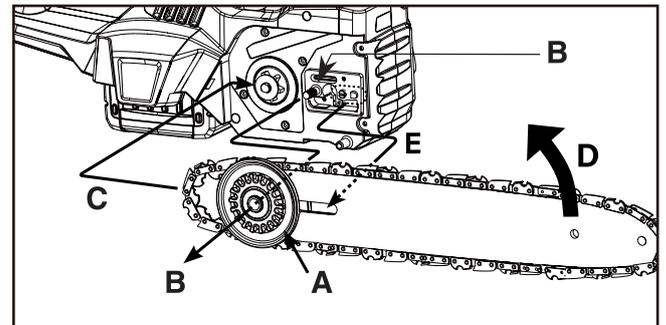
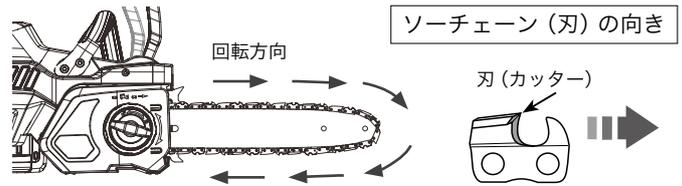


カバー締付けノブ (A) を図の方向に回転してスプロケットカバー (B) を取り外し、ドライブスプロケットとパーシットにアクセスします。



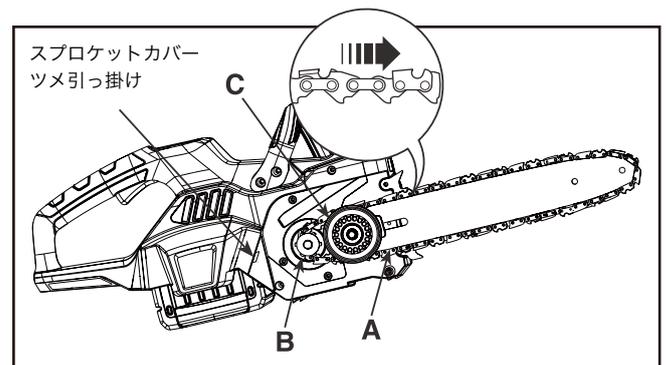
ソーチェーン (6) をガイドバー (7) に取り付けます。バーの上部から始めて、ソーチェーンをガイドバーの円周溝に沿って配置していきます。チェーンを挿入する際は、カッターがチェーンの回転方向を向くように取り付けてください。

⚠ 注意!

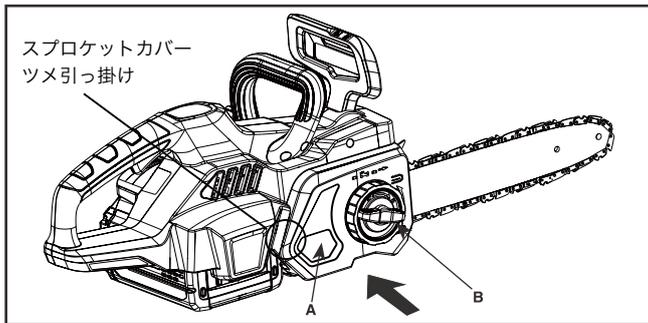


ガイドバーにソーチェーンを取り付けたら、それを本体に取り付けていきます。

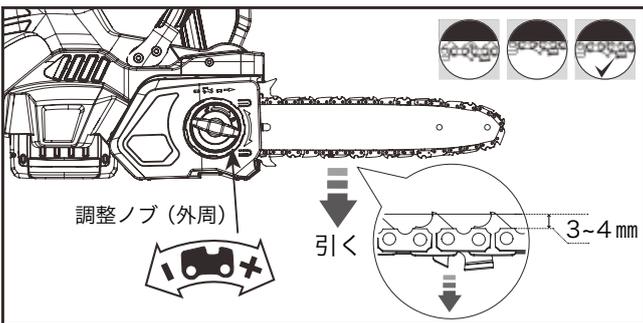
- ・ガイドバーについているチェーンテンショニングギア (A) を反時計回りに止まるまで回します。
- ・スタッドボルト (B) をチェーンテンショニングギアの中央の穴に通して、ソーチェーン (C) をドライブスプロケット外周にかけます。
- ・この時、スタッドボルトを穴に通した状態でガイドバー (D) を垂直方向に持ち上げると、ソーチェーンをドライブスプロケットにかけやすくなります。
- ・完了したらパーシットの突起とガイドバーの溝にはめ込みます。



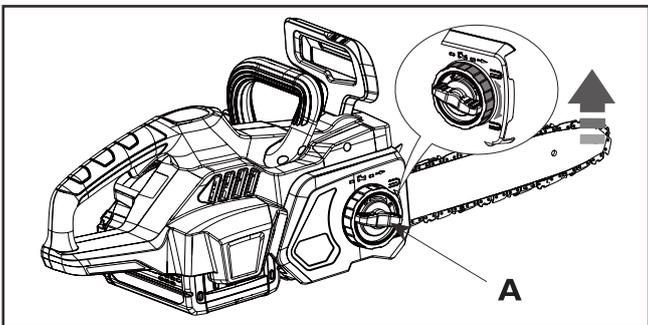
刃のスライド方向に注意しながら、チェーン (A) をガイドバーとドライブスプロケット (B) におさめて、チェーンテンショニングギア (C) を時計回りに回転して、チェーンの緩みをなくします。



スプロケットカバー (A) を再度取り付けます。まだカバー締付けノブ (B) は完全に締め付けません。本体にガードツメをかけてガードがしっかり固定されていることを確認してください。



チェーンテンション調整ノブを回して、テンションを設定します。適正目安はソーチェーンを引っ張って3~4mm 動く程度です。この時ドライブリンクがガイドバーから外れないことを確認してください。



ガイドバーを軽く持ち上げ、カバー締付けノブ (A) を締め付けます。

作業完了後、チェーンブレーキを解除して、ソーチェーンが適正なテンションで、かつ自由にスライドできることを確認してください。チェーンがガイドレールから外れていたり、動かない場合は、もう一度、取り付け手順に従って正しくやり直してください。弛みがあったり、スライドがきつい場合は、チェーンの張りを再調整してください。制御不能な動作につながり大変危険です！

⚠ 注意！

- ・各部を調整して騒音と振動を最小限に抑えてください。
- ・正常に動作するガイドバーとソーチェーンのみをご使用ください。
- ・これらを定期的に整備し、清掃してください。
- ・新しいソーチェーンのテンションは、数分の操作した後を確認し、必要に応じて張り調整する必要があります。
- ・使用しないときは本体の電源をオフにして、バッテリーを取り外し、チェーンブレーキをかけてください。

【チェーンの潤滑について】

チェーンソーは十分なチェーンオイルがある場合のみ操作してください。オイル潤滑が不十分だと、本製品の耐用年数が短くなります。オイルレベルインジケーターに基づいてオイル量を確認してください。

【チェーンオイルの給油】

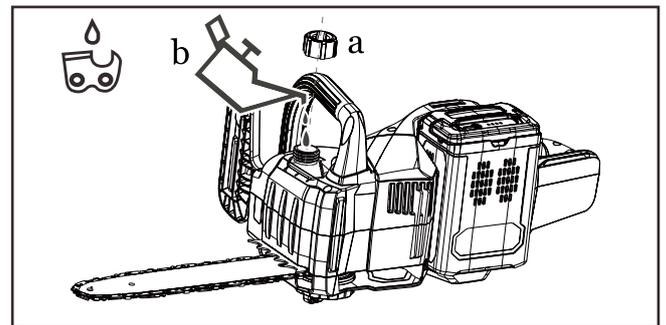
⚠ 注意！

チェーンソーには、環境に優しく高品質のチェーンオイルをご使用ください。(推奨：やまびこ オールシーズンチェーンオイル) 使用済みオイルは加えないでください。使用済みオイルは、長時間繰り返し皮膚に接触すると皮膚がんを引き起こす可能性があります。環境に有害です！使用済みオイルには必要な潤滑特性がなく、チェーンの潤滑には不適當です。

推奨されていないオイルを使用すると、レール、チェーン、および潤滑システムに損傷を与える可能性があります。

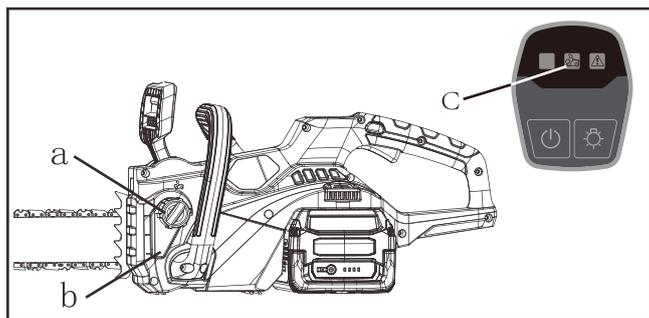
オイルタンクに汚れが入らないようにしてください。オイルのこぼれを防ぎ、こぼれたオイルは必ず拭き取ってください。

オイルタンクキャップを斜めに締め付けるとチェーンオイルが漏れる可能性があります。オイルタンクキャップは注ぎ口に対して、並行に締めてください。



- ・オイルタンクキャップ (a) を緩めます。
- ・オイルレベルインジケーター (b) の上限マークに達するまで、チェーンオイルを慎重に加えます。オイルタンク容量：最大 250 ml
- ・オイルタンクキャップ (a) を注ぎ口と並行にして、手でしっかりと締めます。

チェーンオイルの補充



- ・オイルレベルインジケータ (b) を確認し、潤滑に十分なチェーンオイルがあることを確認します。
- ・オイルタンクキャップ (a) を緩めます。開ける前に、必要に応じてタンクカバーと給油口を清掃してください。
- ・オイルレベルインジケータ (b) の上部マークに達するまで、チェーン潤滑油を慎重に注入します。オイル切れまたは不足する場合、残量インジケータライト (C) が赤く点灯します。

⚠ 注意！

チェーンソーには、環境に優しく高品質のチェーンオイルをご使用ください。(推奨：やまびこ オールシーズンチェーンオイル)
使用済みオイルは加えないでください。使用済みオイルは、長時間繰り返し皮膚に接触すると皮膚がんを引き起こす可能性があります、環境に有害です！使用済みオイルには必要な潤滑特性がなく、チェーンの潤滑には不適當です。推奨されていないオイルを使用すると、レール、チェーン、および潤滑システムに損傷を与える可能性があります。

オイルタンクに異物が入らないようにしてください。オイルのこぼれを防ぎ、こぼれたオイルは必ず拭き取ってください。

チェーン潤滑の確認

- ・チェーンソーを始動します
(「チェーンソーのスイッチを入れる (13 ページ)」参照)。
- ・作動中のソーチェーンを地面から約 15cm 上に短時間保持します。
十分なチェーン潤滑があれば、ソーチェーンからオイルが飛散して地面にうっすらとオイル跡が現れます。

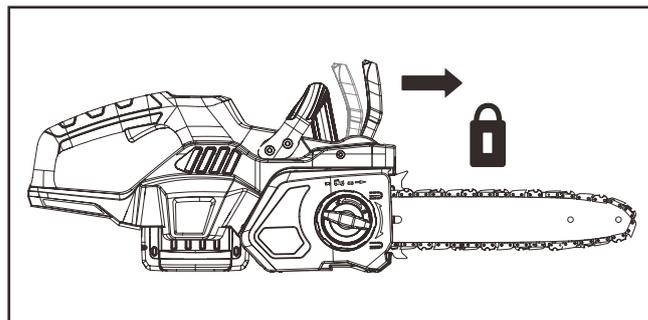
試運転 / チェーンブレーキ

⚠ 警告！

使用前に必ずチェーンブレーキが正常に作動することを確認してください。そうでない場合は、チェーンソーを使用せず、資格のある専門家または専門の修理工場での修理を依頼してください。

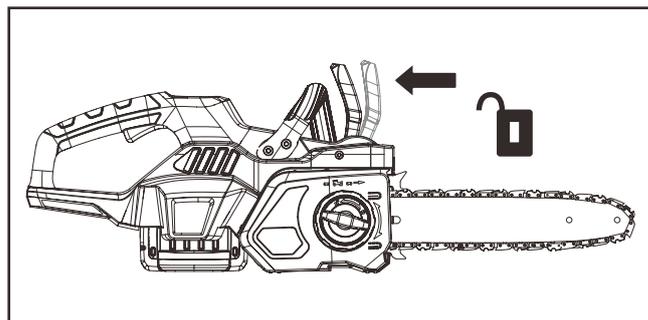
このチェーンソーには、キックバックが発生した場合にチェーンを瞬時に停止させるチェーンブレーキによる保護装置が装備されています。キックバック時には、ハンドガードが左手に接触することによりチェーンブレーキが自動的に作動します。したがって、チェーンソーは常に両手でしっかりと握ってください。

チェーンブレーキの手動作動



- ・ハンドガードをガイドバーの先端の方向に傾けます。

チェーンブレーキの解除



- ・ハンドガードをフロントハンドルの方向に引きます。

チェーンブレーキの確認

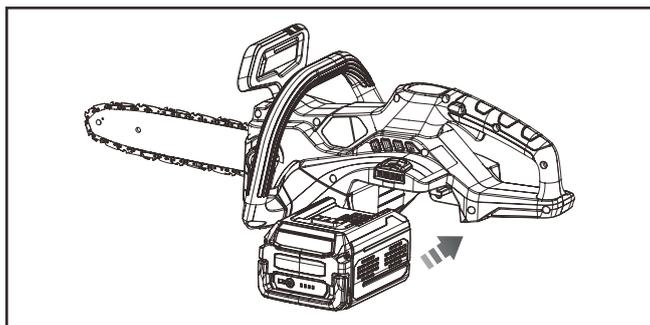
1. チェンソーを地面に置き、ハンドガードをフロントハンドル方向に傾けてチェーンブレーキを解除します。
2. チェンソーを両手でしっかりと持った状態で電源を ON にして、スイッチを入れてチェーンを回転させます。
3. チェーンが回転している状態でハンドガードをガイドバー先端の方向に傾けてチェーンが直ちに停止して、チェーンブレーキが機能することを確認してください。

⚠ 注意！

チェーンブレーキが機能しない場合は、チェーンソーを使用せず、販売店またはメーカーへご相談ください。

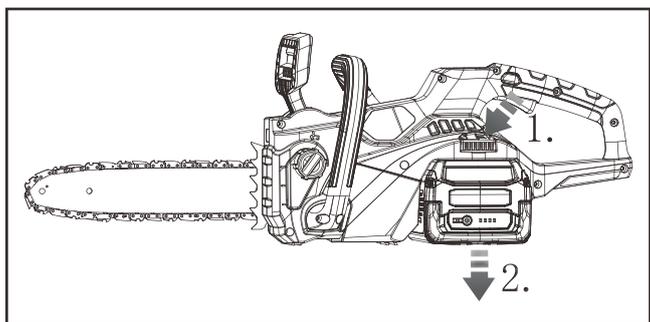
作業後は、チェーンブレーキの目に見える機構を定期的に清掃し、切りくずや鋸屑を取り除いてください。

【バッテリーの挿入 / 交換】



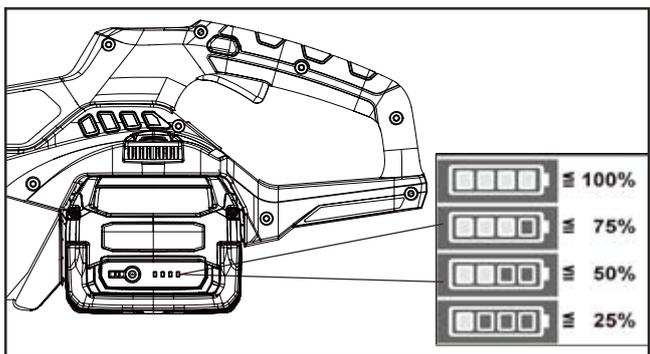
- ・充電器の取扱説明書に記載のとおりバッテリーを充電します。
- ・充電済みのバッテリーを挿入します。完全にカチッと音を立てて固定されるまで奥へ押し込みます。

【バッテリーの取り外し】



- ・取り外すには、ロック解除ボタン (1) を押してバッテリー (2) を取り外します。使用しないときはバッテリー接点に物が触れないように保護してください。金属の小さな部品がバッテリーを短絡させ、爆発や火災の危険につながる可能性があります！

【バッテリー充電レベルの表示】



バッテリーのボタンを押すことにより、バッテリー充電インジケータ LED で充電レベルを確認できます。

ライトは 5 秒後に消えます。LED が点滅する場合は、バッテリーを充電する必要があります。ボタンを押しても LED が点灯しない場合は、バッテリーを交換する必要があります。

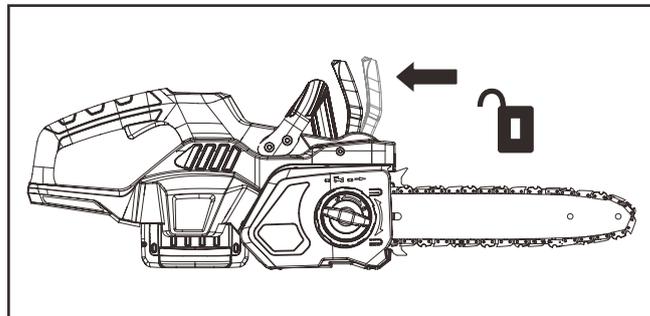
【チェーンソーのスイッチを入れる】

▲警告！

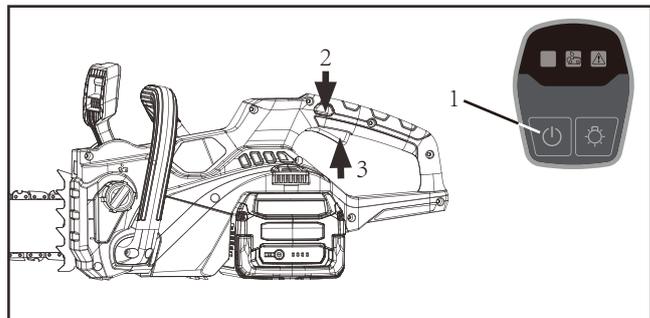
ソーチェーンが他の物体に触れていないことを確認してください。

怪我の危険があります！

チェーンソーを両手でしっかりと持ち、人（特に子供）や動物がすぐ近くにいないことを確認してください。

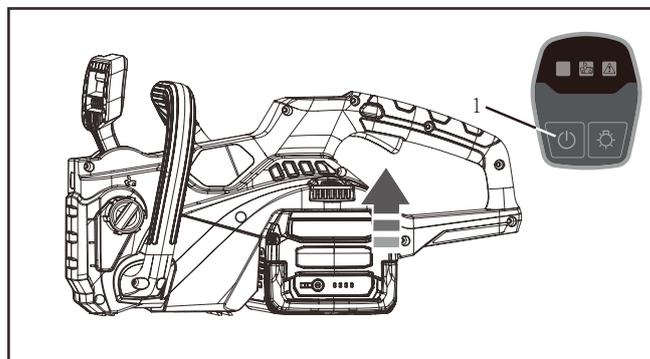


チェーンソーを始動する前に、チェンブレイキが解除されていることを確認してください。チェンブレイキを解除するには、ハンドガードをフロントハンドルの方向に引きます。



- ・電源オンボタン (1) を押します。
- ・スイッチロック (2) を押し続けます。
- ・オン/オフスイッチ (3) を押すと、チェーンソーが作動し始めます。チェーンソーの始動を確認したら、スイッチロックを解除します。

【チェーンソーの電源を切る】



- ・オン/オフスイッチから指を離して、動作を停止します。
- ・電源をオフにするには電源ボタン (1) を押してください。（無操作時間が約 1 分続くと自動で電源オフになります）

8. 操作

モーターを始動する前に、チェーンソーを正しい姿勢で構えていることを確認してください。

⚠ 注意！

欠陥のある、またはひどく摩耗した切断装置でチェーンソーを操作しないでください。

⚠ 警告！

使用前にチェーンソーのソーイング技術を詳細に習得してください
※「基本的な作業技術 P.14」を参照。

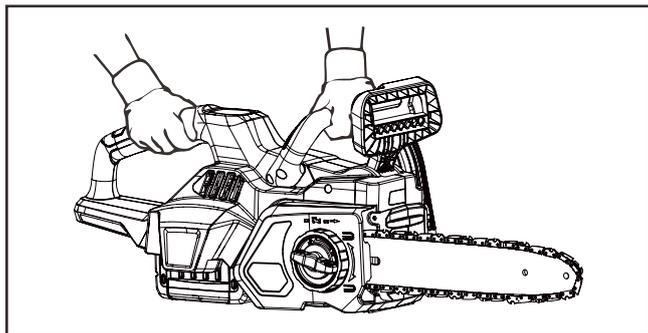
⚠ ケガのおそれあり

子供にチェーンソーを操作させないでください。取扱説明書を読んでもいない人、またはチェーンソーの安全で正しい使用に関する適切な指示を受けていない人にチェーンソーを使用させないでください。適切なトレーニングコースへの参加をお勧めします。ここで提供される情報は補足的なものにすぎません！

チェーンソーの正しい持ち方

⚠ ケガのおそれあり

- ・不安定な地面で作業しないでください！
- ・肩の高さより上で絶対に作業しないでください！
- ・はしごの上で立って作業しないでください！
- ・作業中に過度に身を乗り出さないでください！ 天候と地形条件が良い場合にのみ装置を使用してください！ 両足をしっかりと地面につけて立ってください。作業エリアの障害物に注意してください。作業中は、常に両手で装置をしっかりと持ってください！ 装置を持ちます。



- ・左手でフロントハンドルを持ちます。
- ・右手でリアハンドルを持ちます。
- ・安定した姿勢でバランスを取ります。

■ 毎回使用する前に

- ・すべての部品がしっかりと固定されていることを確認し、目に見える欠陥がないか確認してください。
- ・ソーチェーンのテンションが適正であることを確認してください。適正目安はソーチェーンを引っ張って3～4mm動く程度です。
- ・チェーンブレイキの機能を確認してください。
- ・チェーン潤滑を確認してください。
- ・燃料・オイル等漏れがないか確認してください。

【使用後】

⚠ ケガのおそれあり

チェーンソーを置く前に必ず電源スイッチを切ってください！
オン/オフスイッチを離した後、ソーチェーンは短時間作動し続けます。

- ・オン/オフスイッチから指を離します。
- ・すべての可動部品が完全に停止するまで待ちます。
- ・バッテリーを取り外します。
- ・チェーンブレイキをかけます。
- ・ガイドバーにカバーを装着します。
- ・チェーンソーを冷まします。

■ 正しいソーイング方法

- ・作業エリアを確認し、邪魔になる物体を取り除きます。
- ・作業開始時に、チェーンソーが安全であることを確認します。
- ・チェーンソーを両手でしっかり正しく持ちます。
- ・チェーンソーのスイッチを入れ、切断したい箇所をチェーンで当めます。
- ・チェーンソーに一定の圧力をかけ、過度な力を加えないでください。
- ・可能であれば、クローストップ(スパイク)を木に当てながら使用して、チェーンソーで木材を切断していきます。

⚠ 注意！

ソーチェーンが異物に接触した場合、または作動音が大きくなったり激しく異常な振動をした場合は、機械を停止します。チェーンが停止したのを確認したら、バッテリーを取り外して次の措置行ってください。

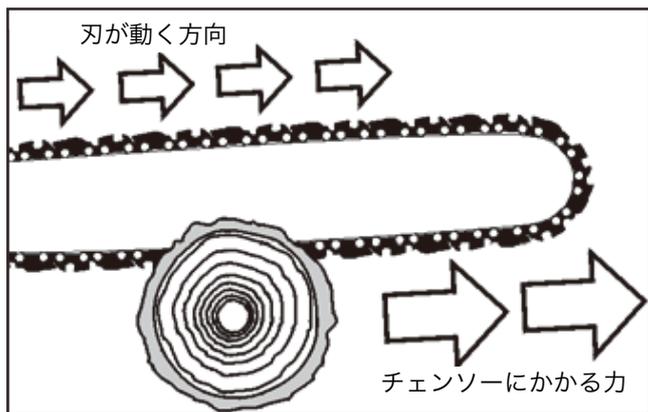
- ・損傷の確認
- ・緩んだ部品がないか全ての箇所を確認し、緩んでいたたらを固定する
- ・損傷した部品を同等の部品と交換するか、修理する。

基本的な作業技術(鋸引き技術)

⚠ ケガのおそれあり

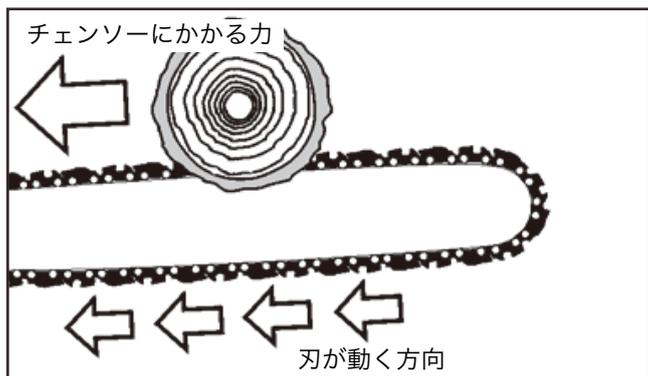
ここでは、チェーンソーを使用するための基本的な作業技術について説明します。ここで提供される情報は、専門家の長年の訓練と経験に代わるものではありません。ご自身の資格に不十分な作業は避けてください！チェーンソーの不注意な使用は、重傷や死亡事故につながる可能性があります！

プルソーイング



この技術では、ガイドバーの下側を使用して上から下にソーイングが行われます。ソーチェーンはチェーンソーを前方に、ユーザーから離れるように引っ張ります。この動作により、チェーンソーの前端が支持体を形成し、ソーイング中に木の幹にかかる力を吸収します。プルソーイングでは、ユーザーはチェーンソーを大幅に制御しやすくなり、キックバックをより良く回避できます。したがって、可能であればこのソーイング技術を使用する必要があります。

プッシュソーイング



この技術では、ガイドバーの上側を使用して下から上にソーイングが行われます。ソーチェーンは装置を後方に、ユーザーに向かって押します。

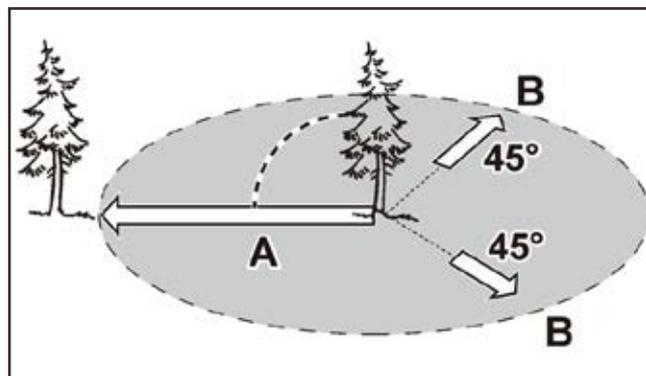
▲ 警告！

ガイドバーが傾くと、チェーンソーが大きな力でユーザーに向かって急に動くことがあります。(プッシュソーイングでは)チェーンソーが作業側側に押される力が働きます。この力に負けてしまうと、ガイドバーの先端が木材に当たって跳ね上がり、キックバックが発生する危険があります。死亡または重傷の危険があります！

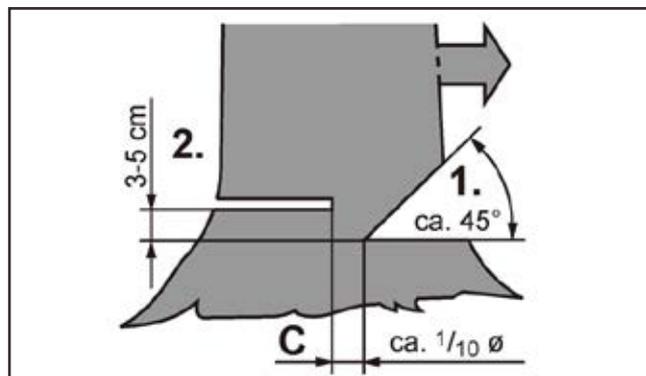
木の伐採

▲ ケガのおそれあり

伐採および枝払い作業は、特別な訓練を受けた担当者のみが行ってください！生命を脅かす怪我の危険があります！伐採作業の前に、以下をご確認ください。



- ・伐採エリア (A) に傍観者や動物がいないこと。
- ・すべての参加者が利用できる、障害物のない明確な避難経路があること。撤退 (B) は伐採方向に対して斜めに行ってください。
- ・幹の周りに障害物がないこと (つまりと危険です！)
- ・最寄りの作業場所が少なくとも幹の長さの 2.5 倍離れていること。
- ・伐採前に、木の伐採方向を確認し、木の長さの 2.5 倍の距離内に障害物、人、または動物がいないことを確認してください。



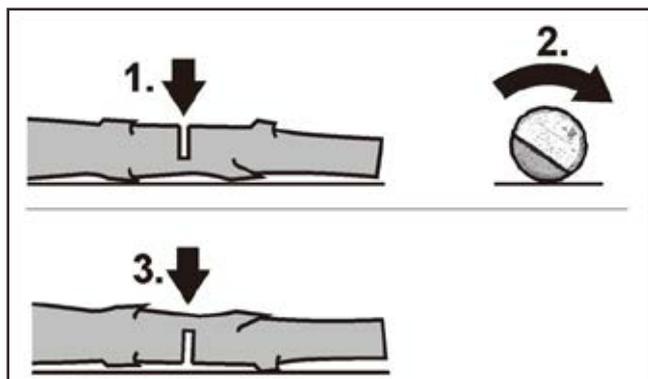
木の伐採は 2 段階で行います。

- ・伐採方向の側に、幹の直径の約 3 分の 1 の深さの受け口をチェーンソーで切ります (1)。
- ・反対側 (2) に追い口を切ります。これは受け口よりわずかに高くする必要があります (約 3 ~ 5cm)。

▲ ケガのおそれあり

幹を完全に切り落とさず、「ツル」(エリア C) を残してください。ツルが蝶番の役割を果たし、木が倒れる方向をコントロールします。伐採中は、伐採しようとする木の脇にのみ立ってください！生命を脅かす怪我の危険があります！

地面に平らに横たわる丸太

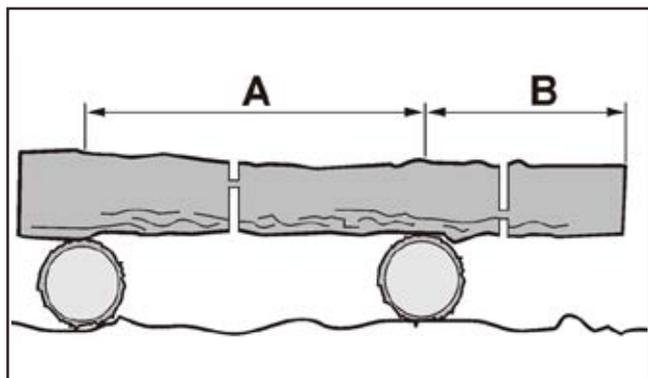


丸太の約半分まで切り込み、次にそれを裏返して反対側を切り通します。

▲ 破損のおそれあり

木の幹を切断する際に、ガイドバーが地面に接触しないようご注意ください。

倒木



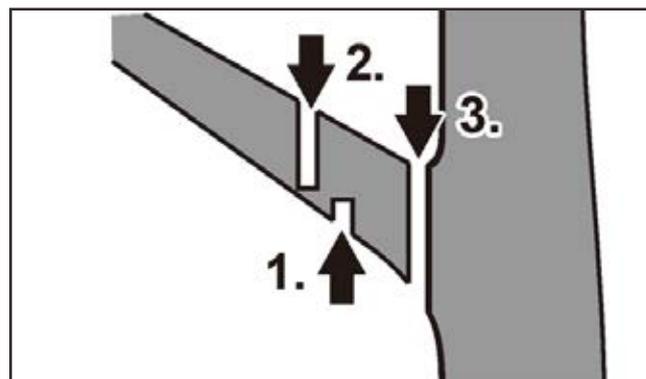
幹を切り通す際は、ソーホース等で幹を支えることをお勧めします。これが不可能な場合は、支持用の枝または支持ブロックを使用して幹を持ち上げ、支持する必要があります。

- ・エリア A では、まず幹の直径の約 3 分の 1 を上から下に切り込み、次に下から上に切り込みます。
- ・エリア B では、まず幹の直径の約 3 分の 1 を下から上に切り込み、次に上から切り通します。

▲ ケガのおそれあり

張力がかかっている幹を切断しないでください！ 木材の裂けやガイドバーの傾きは、重傷を引き起こす可能性があります！

枝払い



常にそれぞれの枝の反対側で作業してください。枝の根元から始めて上に向かって作業します。

- ・枝の根元から 10 ～ 15cm の位置で、枝の直径の 1/3 まで下から上に切り込みを入れます (1)。
- ・枝を少し外側で上から下に切り通します (2)。
- ・幹に密着させて切り込みを入れます (3)。

切り込みは上から下に行います。

枝払い中は、まず空中に突き出ている枝を切り落とします。支持している枝は、他の枝を長手方向に沿って切り終えた後にのみ切り落とします。

▲ ケガのおそれあり

支えとなっている枝や張力が加わっている枝は最後まで切らずに残してください。切ってしまうと枝が跳ね返って、ケガをするおそれがあります。

木にまたがったり、乗って作業をしないでください。転がってケガをする危険があります。

手を伸ばして作業をしないでください。チェーンソーの制御がなくなり、ケガをする危険があります。

9. 清掃とメンテナンス

▲ 警告！

本機に関するすべての作業の前に、必ず装置からバッテリーを取り外してください。鋭利な切断歯による怪我の危険があります！安全手袋を着用してください。

【あなたの安全のために】

ここに記載されているメンテナンス作業のみを自分で行ってください。ここに記載されている以外の作業、特にモーターの分解や修理は、ご自身で行わないでください。資格を持つ専門の技術者による作業が必要です。ご自身での分解や修理は、製品の損傷や重大な事故につながるおそれがあります。

清掃とメンテナンスの概要

毎回の使用後

- ・チェーンソーの各部を清掃してください。
- ・ソーチェーンが緩んでないか確認してください。

使用状況に応じて定期的に

- ・ソーチェーンを締め直します。
- ・ガイドバーオイルガイド溝を清掃します。
- ・ソーチェーンを研ぎます。
- ・ソーチェーンオイルレベルを確認し、必要に応じて補充します。

清掃について

▲ 警告！

水や液体洗剤を使用しないでください。

▲ 注意！

毎回の使用後に、湿らせた布と柔らかいブラシを使用して、チェーンソーを清掃してください。汚れたままにしておくと破損や誤動作の原因となります。

チェーンカバーを取り外し、ガイドレール、ソーチェーン、チェーンホイール、チェーンカバーの堆積物を柔らかいブラシで取り除きます。通気孔を清潔に保ち、ほこりがないようにしてください。

ガイドバーレールとチェーンオイル吐出口の清掃

ソーチェーンとガイドバーを取り外します。

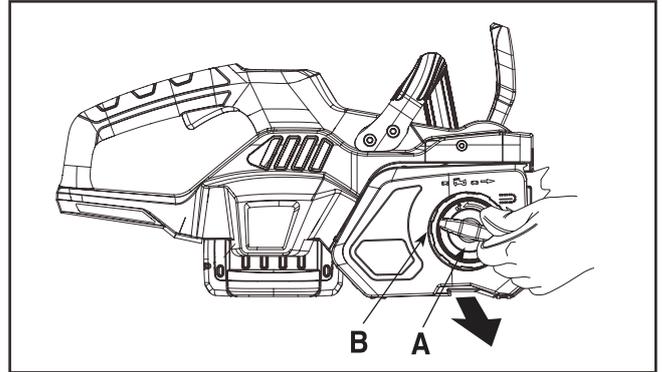
ガイドバークリーナー（ヘラ等）でガイドレールの汚れやチェーンオイル吐出口に溜まった木屑等を取り除きます。清掃にはプラスチック製のクリーナーをご使用ください。金属製は使用しないでください！

清掃が完了したらソーチェーンとガイドバーを再度取り付けます。

メンテナンス

ソーチェーンの再締め付けとテンション再調整

ソーチェーンはガイドバー中央でガイドバーからおおよそ3～4ミリメートル引き離せる必要があります。



カバーナット（A）を反時計回りに十分に回し、ガイドバーが手で動かせるようにします。

チェーンテンション調整ノブで、ガイドバーからおおよそ3～4ミリメートル引き離せる程度に張り調整をします。この時ソーチェーンを手で回し、ガイドレール上で自由にスライドすることを確認します。ガイドバーを少し持ち上げ、カバーナット（A）時計回りに締めて、ガイドバーを固定します。

【注記】

新しいチェーンのテンションは、数分間の操作後に確認し、必要に応じて調整する必要があります。調整する時は必ず電源をオフにして、バッテリーを取り外し、チェーンブレーキをかけて、調整を行ってください。

メンテナンス情報

この製品で使用される以下の部品は消耗品です。作業用途や消耗度合いによって交換が必要となります。

【消耗・摩耗部品】

- | | |
|----------|----------------|
| ・ソーチェーン | ・クローストップ（スパイク） |
| ・ガイドバー | ・チェーントラップ |
| ・チェーンオイル | ・チェーンオイルフィルター |

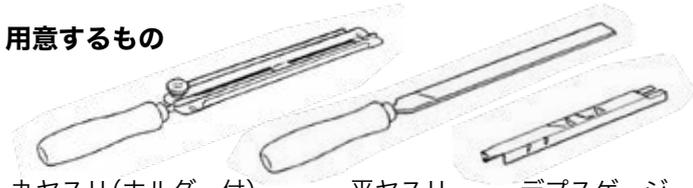
ソーチェーンの目立て

目立てとはソーチェーンの刃先を研磨することで切れ味を復活させることです。切れ味が落ちたと感じたら行ってください。

▲ 警告！

- ・必ず電源を切り、バッテリーを外してください。
- ・保護メガネと手袋を必ず着用してください。
- ・刃をスライドさせる時以外、チェーンブレーキをかけてチェーンが動かないことを確認してください。

用意するもの



丸ヤスリ(ホルダー付) 平ヤスリ デプスゲージ
ガイドバー固定用の万力(バイス)、またはクランプ

付属ソーチェーン OREGON 91PX | 適合丸ヤスリ: 4.0 mm

① ガイドバーを固定

バイスやクランプでガイドバーを垂直に固定します。

② 上刃(カッター)を研ぐ

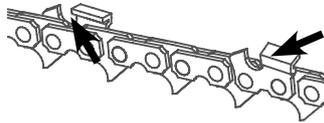
丸ヤスリの研ぐ方向

片側ずつ研ぐ:

まず左右どちらか、

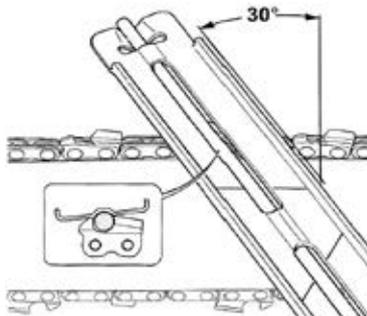
片側の刃をすべて研ぎます。

チェーンの向きを変え、反対側の刃を同様に研ぎます。

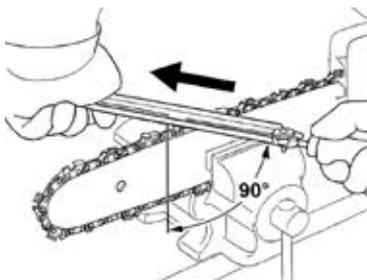


角度を合わせる: ヤスリ

ホルダーを刃に当てて、刻印された角度(付属刃は30°)をガイドバーと平行に合わせます。

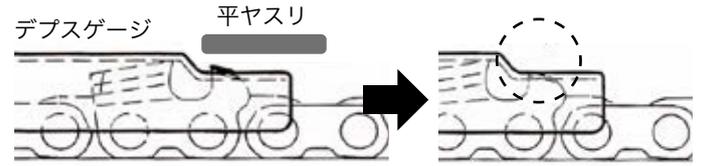


研ぎ方: カッターの内側から外側へ、押すときだけ力を入れて研ぎます。全ての刃を同じ回数研ぐのが、切れ味を均一にするコツです。



③ デプスゲージを調整する(目立て数回に一度)

デプスゲージは刃の食い込み量を調整する部分です。



確認と調整: デプスゲージを刃に被せて、はみ出した部分を平ヤスリで削り、平らにします。

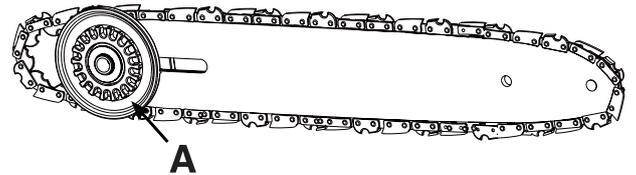
【警告】デプスゲージの削りすぎは、キックバックの原因となり非常に危険です。慎重に作業してください。

④ 仕上げ

研ぎ終わったら、鉄粉をきれいに清掃し、チェーンオイルを十分に注油してください。

目立てを難しく感じる場合は、チェーン取扱店へのご相談をおすすめいたします。

ガイドバーの交換



新しいガイドバーに交換するには、

チェーンテンショニングギア(A)が必須です。

ご使用中のガイドバーから部品を取り外すか、部品としてお取り寄せしていただき、交換するガイドバーに装着してください。

標準付属ガイドバーの仕様

OREGON 518303 (180SDEA041)

バー長さ: 18" (45cm)

ピッチ: 3/8"

ゲージ: 1.3mm

バーマウント: A041

▲ 注意!

標準以外のガイドバーで、上記仕様を満たしていたとしても、本製品での使用を保証するものではありません。

10. 保管

- ・本機を乾燥した霜の降りない場所(10～25°C)に保管してください。
- ・バッテリーと装置は別々に保管してください。
- ・冬期保管する前にバッテリーを充電してください。
- ・長期間使用しない場合は、必ず装置からチェーン潤滑油を排出してください。
- ・ガイドバーには保護ケースを被せます。
- ・チェーンソー、特にそのプラスチック部品を、脱脂スプレー、ガソリン、油を含む製品、オイル製品などから遠ざけてください。これらには、装置のプラスチック部品を損傷または破壊する可能性のある化学物質が含まれています。
- ・肥料やその他の園芸用化学薬品には、金属部品に著しく腐食性の影響を与える可能性のある物質が含まれています。これらの近くで本機を保管しないでください。

11. 廃棄とリサイクル

本機は、輸送中に損傷しないように梱包されています。この梱包材の原材料は再利用またはリサイクルできます。本機とその付属品は、金属やプラスチックなど、さまざまな種類の材料で作られています。交換した部品等の廃棄処分につきましては、お住まいの地方自治体にお問い合わせください。

古いチェーンソーは家庭ごみと一緒に処分してはいけません！
廃棄機械を不適切な取り扱っていると、電子機器に含まれる有害物質が、環境と人間の健康に悪影響を与える可能性があります。この製品を適切に廃棄することは、天然資源の効果的な利用にも貢献します。廃棄機械の収集に関する情報は、お住まいの地方自治体へお問い合わせください。

バッテリーと充電式バッテリーは家庭ごみには属しません！
バッテリーと充電式バッテリーの廃棄・リサイクルについては製品の取扱説明書に従って行ってください。

* ラベル表示：Cd= カドミウム、Hg= 水銀、Pb= 鉛

12. トラブルシューティングガイド

不具合	考えられる原因	対処法
装置が作動しない	バッテリー切れ	バッテリーを充電する
	バッテリーが正しく挿入されていない	バッテリーを取り外し、再度挿入する
装置が断続的に作動する	接続不良（外部）	専門の修理工場にご相談ください
	接続不良（内部）	
	オン / オフスイッチが故障している	
ソーチェーンが乾燥している	タンクにオイルがない	オイルを補充する
	オイルタンクキャップの通気孔が詰まっている	オイルタンクキャップを清掃する
	オイル排出口が詰まっている	オイル排出口を清掃して詰まりを解消する
チェーン / ガイドバーが熱い	タンクにオイルがない	オイルを補充する
	オイルタンクキャップの通気孔が詰まっている	オイルタンクキャップを清掃する
	オイル排出口が詰まっている	オイル排出口を清掃して詰まりを解消する
	チェーンの切れ味が鈍い	チェーンを目立てまたは交換する
	チェーンが張りすぎている	チェーンテンションを確認する
チェーンソーがガタガタと揺れる、振動する、またはうまく切断できない	チェーンが緩すぎる	チェーンテンションを調整する
	チェーンの切れ味が鈍い	チェーンを目立てまたは交換する
	チェーンが摩耗している	チェーンを交換する
	ソーの歯が間違った方向を向いている	チェーンを正しい向きに付け直す



パーツリストについては、プラウ ホームページでのご案内となります。

左の QR コードまたは下記 URL からアクセスしてください。

「部品図・パーツリスト」 ページ URL

bit.ly/plowparts